



NODA

第84期  
営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879



代表取締役社長  
野田 励

## ノダグループは、 木を活用した心地よい空間づくりによって 社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、ここに当社グループの第84期(2020年12月～2021年11月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。  
2022年2月

### 営業の概況

住宅業界におきましては、2021年の春先から顕在化したウッドショックの影響により、住宅構造材に使用する輸入木材の需給が逼迫し、代替として国産木材の需要も急増したことから、木材価格が急騰する厳しい事業環境が続きました。一方、新設住宅着工戸数は、コロナ禍における住宅取得意欲の高まりや、住宅ローン減税の契約期限到来による駆け込み需要などの影響から、持家や貸家を中心に回復傾向で推移いたしました。

このような事業環境において当社グループは、原材料の確保や製品の安定供給に努め、コストダウンや生産性向上に取り組むとともに、販売価格の改定を行い収益の確保に努めました。また、建材製品やMDF(中質繊維板)のシェア拡大や国産針葉樹合板の活用推進、非住宅分野やリフォーム・リノベーション分野の市場開拓、抗ウイルス加工を施した製品の開発・拡販など様々な施策に引き続き取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高64,586百万円(前期比3.7%増)、営業利益3,829百万円(同37.4%増)、経常利益4,243百万円(同45.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,535百万円(同

49.9%増)となりました。

### 住宅建材事業

「ビノイエ」「モードコレクト」など内装建材シリーズのシェア拡大に引き続き取り組むとともに、「ラストティックフェイス リッチ・Jベース」「Jネクシオ」など国産針葉樹合板とMDFの複合基材を使用したフロアの拡販に注力いたしました。また、SIAA認証の抗ウイルス加工を施した製品を新たに開発し、市場投入いたしました。さらに、バリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」を足がかりに、高齢者施設や幼保施設など非住宅分野の開拓に取り組むとともに、マンションを中心にリフォーム・リノベーション需要の獲得にも努めました。MDFについては、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用ハイベストウッド(HBW)や、出資先・業務提携先のIFI社(インドネシア)製の輸入MDFの拡販に取り組みました。

なお、引き続きコストダウンの徹底や原材料の確保に努めましたが、原材料・副資材価格が急激に上昇する厳しい事業環境のなか、下半期において合板基材のフロアやラスカット(内装外装下地材)などの販売価格改定を実施いたしました。また、堅調な住宅需要に支えられ、フロアや構造用HBWの販売量が増加いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は40,490百万円(前期比4.0%増)、セグ

メント利益は2,838百万円(同18.8%増)となりました。

### 合板事業

国産針葉樹合板は、2021年3月に連結子会社石巻合板工業株式会社で発生した火災の影響で生産量・販売量が一時的に落ち込んだほか、原油価格の上昇により接着剤価格も上昇したことなどから、製造コストは前期に比べ増加いたしました。また、期初から国内在庫が低水準で推移しておりましたが、ウッドショックを背景に原木価格が上昇傾向となるなか、第3四半期以降、新設住宅着工戸数の回復傾向を受け需給はますます逼迫し、販売価格は大幅に上昇いたしました。

輸入南洋材合板は、生産現地であるインドネシアやマレーシアにおいて、感染拡大に伴うロックダウンが発令されるなど深刻な状況が続く、原木の供給量や人員が不足し生産量が低迷いたしました。このため、産地価格が急激に上昇するとともに、供給不安から国内の販売価格も大幅に上昇いたしました。

この結果、合板事業の売上高は24,096百万円(前期比3.2%増)、セグメント利益は2,535百万円(同37.6%増)となりました。

### 配当について

当社の利益配分に関する基本方針は、業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うことです。また、内部留保金につきましては、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てていく考えです。なお、当期(2021年11月期)の期末配当金につきましては、配当の基本方針並びに当期の業績等を総合的に勘案し、1株につき19円50銭(中間配当金を含め当期の年間配当金は1株につき32円、前期に比べ7円の増配)とさせていただきます。

### 対処すべき課題

2022年11月期の見通しにつきましては、ウッドショックに端を発する原材料・副資材の供給不足や価格高騰は依然として続いており、今後も厳しい事業環境が続くものと

思われます。また、新たな変異株による新型コロナウイルス感染再拡大の懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況です。なお、長期的には国内人口の減少に伴い、新設住宅着工戸数は継続的に減少するものと予想されます。

当社グループはこのような事業環境のもと、引き続き原材料の確保や製品の安定供給に努めながら、収益確保のため固定費のコントロールなど各種コストダウンの徹底に取り組むとともに、原材料価格高騰によるコストアップに見合った販売価格の改定を必要に応じて実施いたします。また、リフォーム・リノベーションや高齢者施設、幼保施設向け製品の販売強化に加え、公商施設や宿泊施設向け製品の開発や販路拡大など非住宅分野のさらなる市場開拓に引き続き取り組むことによって、フロアや建具、住宅構造材など建材製品を様々な空間に展開し、シェアの拡大を図ります。住宅向けにおいても高齢者の増加やライフスタイルの変化に伴う新たなニーズに応えるため、「ユニバーサル ディレクト」のさらなる充実を図るとともに、抗菌・抗ウイルス製品やテレワーク対応製品などの開発、拡販に取り組みます。さらに、ITの活用により、業務の効率化や従業員の負担軽減を図るとともに、テレワークなど柔軟な働き方を可能にすることで、働き方の多様化や生産性向上、人材確保に努めます。その他にも、安全管理の徹底や設備投資による省力化、人材の育成など各種施策を引き続き実施して、収益性改善と企業体力強化に努めます。

なお、これらと並行し、SDGsへの取り組みとして、植林により再生可能な木材資源である国産材を使用した国産針葉樹合板や、再生資源・未利用資源である廃木材のチップを使用したMDFを引き続き積極的に活用するとともに、健全な森林を整備するため、これらの原材料として間伐材を積極的に受け入れることで、CO<sub>2</sub>の削減や持続可能な森林循環に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

### 【企業理念】

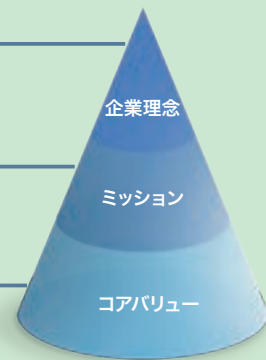
主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

### 【ミッション】

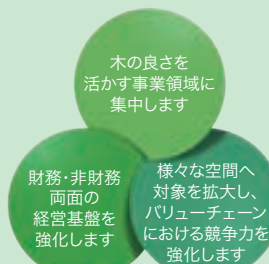
社会に果たすべき使命・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します  
木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

### 【コアバリュー】

理念実現のための共通の価値観  
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



### 【ビジョン2030実現のための経営戦略】



### 【理念実現のための基本姿勢】



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

木をムダなく使う技術を追求して  
持続可能な森林循環に貢献し、  
環境にやさしいエコ素材を活用したノダ製品が、  
SDGsの達成に貢献いたします。

私たちは、自らの事業を通じて、  
SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、  
グループをあげて取り組みます。

**11** 住み続けられるまちづくりを

**目標11**  
「住み続けられるまちづくりを」  
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

**12** つくる責任 つかう責任

**目標12**  
「つくる責任つかう責任」  
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

**13** 気候変動に具体的な対策を

**目標13**  
「気候変動に具体的な対策を」  
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

**15** 陸の豊かさも守ろう

**目標15**  
「陸の豊かさも守ろう」  
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

## 1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。

木の伐採量を大幅に減らします。



構造用ハイベストウッド(MDF)施工例

地震に強い  
壁倍率  
4.0取得



## 2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO<sub>2</sub>の削減、資源保護に貢献しています。

日本の森林を保全し、CO<sub>2</sub>吸収量を増やします。



Jネクシオ



国産針葉樹合板

## 3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果をもたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。

木をムダなく使い、健全な森林の整備に貢献します。



高性能林業機械ハーベスタによる間伐作業

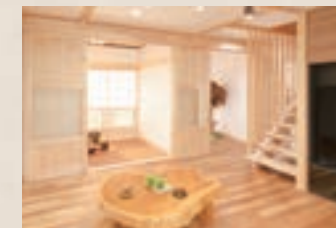


適度な光が差し込み木々の健全な生育環境が保たれます

## 4. 植林木を使用

森林資源保護のため、スライNDER SPシリーズMSタイプ(自然塗装)、国産材大井川杉シリーズは植林木のみを使用しています。良質な木材資源が急速に減少する中、将来における木材産業の発展・維持のために再生可能な植林木を使用しています。

循環型資源を活用し、環境を維持します。



国産材大井川杉シリーズ



スライNDER SPシリーズMSタイプ自然塗装

## 「ふじのくに森の防潮堤づくり」への資材寄付に対する紺綬褒章を受章

当社は紺綬褒章を受章し、2022年1月18日に静岡県庁において褒状伝達式が執り行われました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者を国として表彰するもので、当社は、静岡県が推進する「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力し、植栽木を潮風や砂から守る木杭材料として、2017年より当社富士川工場で作成する際に発生する芯材（丸太の剥き芯）を寄贈しております。

「ふじのくに森の防潮堤づくり」は、塩害や松くい虫被害により荒廃した海岸防災林を再生するため、枯損の進んだ地域を対象に静岡県および中東遠4市（磐田市、袋井市、掛川市、御前崎市）が取り組む事業です。

当社グループの石巻合板工業は、東日本大震災で大きな被害を受け、静岡の皆様にも多大なご支援をいただき復興することができました。今回、津波のリスクを低減し、地域の安全に暮らせるまちづくりに貢献することでそのご恩を少しでもお返しできることは、私たちにとても嬉しいことです。

当社は、今後も地域社会に資する取り組みを行い、引き続き社会貢献に努めるとともに、グループを挙げて国産材（間伐材や未利用材など）を積極的に活用することで、健全な森林の整備、CO<sub>2</sub>削減、持続可能な森林循環に貢献し、またSDGsの達成に貢献してまいります。



ふじのくに森の防潮堤（静岡県袋井市湊での海岸防災再整備）

本取り組みが貢献するSDGsの目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



紺綬褒章 褒状



芯材を加工した木杭



芯材の使用状況

# Rustic Face

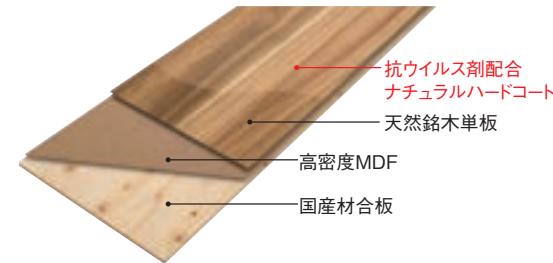
Rich J-Base

リッチ・Jベース(1本溝タイプ)

銘木単板ならではの多彩な表情と個性を活かしたフロアです。木目の織りなす繊細な風合いと、時の積み重なりを感じる上質感で、あたたかみがありながら洗練された空間をデザインします。



「Acacia(アカシア)」



ナチュラルハードコート仕上げ  
天然木の自然な風合いを活かし、低艶で塗装感のない仕上りとしながらも耐久性のある塗装です。



## ~HBW (構造用ハイベストウッド)~

優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDFにより、より快適な住まいを実現できます。

### 3つの特徴

- ①耐震性、耐久性向上（繰り返し地震に強い）
- ②抜群の施工性（断熱材を均一に取り付けられ、気密性アップ）
- ③優れた環境性（地球にやさしいエコ素材）

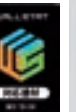
快適な住まいを実現!

**HBW**  
構造用ハイベストウッド

繰り返し  
地震に  
強い!



耐震性能  
シミュレーションソフト  
「wallstat」に対応



～抗ウイルス加工フロア～

当社は複合フロアでSIAA（抗菌製品技術協議会）の抗ウイルス認証を取得し、販売しております。複合フロアでは、高齢者施設向けからマンション用防音フロアまで幅広い製品に対応しており、より安全で安心できる住生活空間の実現に努めてまいります。



見て 触って 体感する **快住ラボ**  
**NODA 体験型ショールーム**

使いやすい・快適さを確かめる

**バリアフリー発見・体感ゾーン**

- ・「安心・安全で人にやさしい住まい」を体感できます。
- ・実際に車いすに乗って廊下の幅や開口の広さ、ドアの操作性などを確認できます。
- ・高齢者疑似体験スーツを着用し、高齢者の方の体の動きや住まいの危険な場所を発見・体感できます。
- ・衝撃吸収フロアの紹介や、さまざまな床材の歩行感を比較体験できます。



実際に住める住空間を体感する

**生活提案商品ゾーン**

デッドスペースの有効活用術をご提案いたします。収納等に役立つアイデア満載の商品を展示、各種コーディネートと併せて確認できます。

多彩な商品ラインアップを見る

**各種コーディネートゾーン**

インテリア建材の多彩な組み合わせをはじめ、住まう人の個性に合わせたさまざまなコーディネートスタイルをご提案いたします。

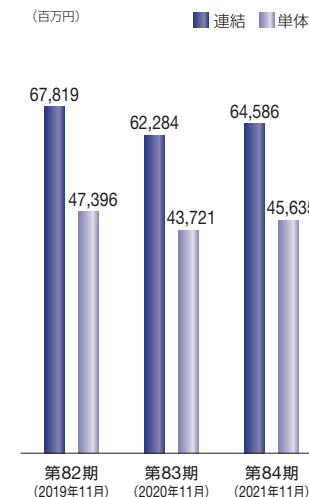


**オンライン相談会**

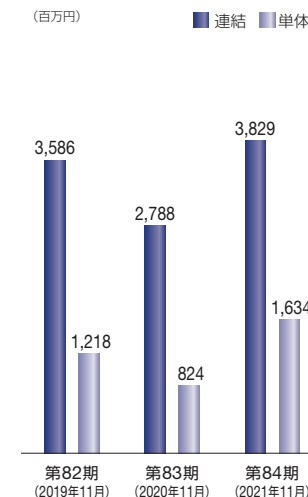
お客様のご自宅とショールームをオンラインでつなぎノダの製品情報をお届けします。詳しくは、当社ホームページのオンライン説明会エリア専用ページをご確認下さい。

決算ハイライト

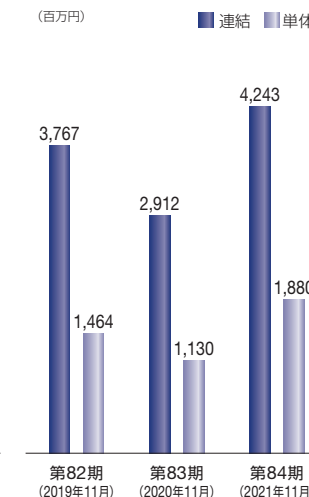
売上高



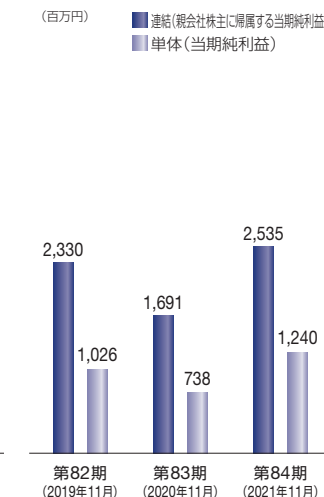
営業利益



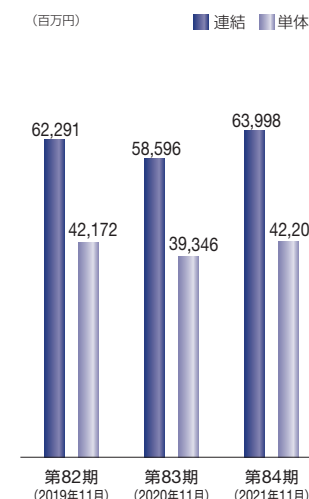
経常利益



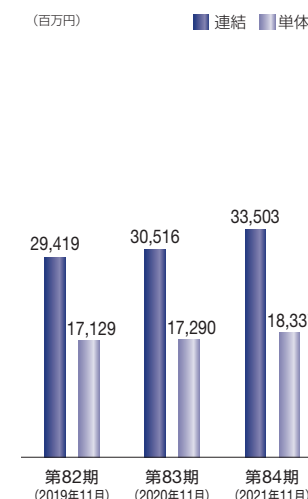
当期純利益



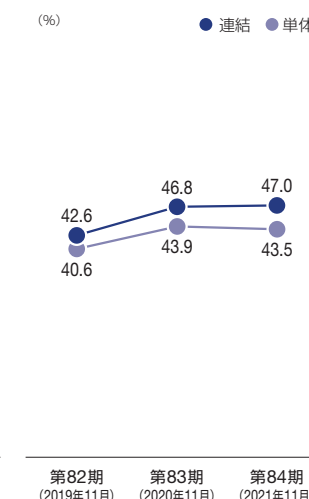
総資産



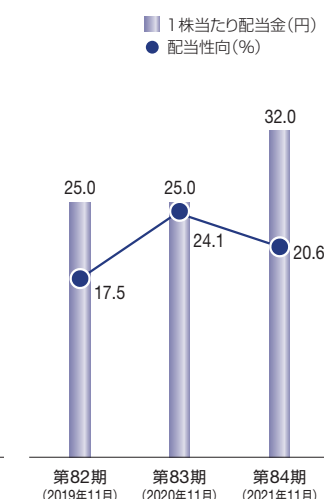
純資産



自己資本比率



年間配当金



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末 2021年11月30日現在	前期末 2020年11月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	40,877	36,450
固定資産	23,121	22,146
有形固定資産	13,692	13,767
無形固定資産	868	557
投資その他の資産	8,560	7,821
資産合計	63,998	58,596
<b>負債の部</b>		
流動負債	22,121	18,867
固定負債	8,373	9,212
負債合計	30,495	28,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,267	28,138
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	26,962	24,833
自己株式	△ 423	△ 423
その他の包括利益累計額	△ 186	△ 707
非支配株主持分	3,422	3,084
純資産合計	33,503	30,516
負債純資産合計	63,998	58,596

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2020年12月1日から 2021年11月30日まで	前期 2019年12月1日から 2020年11月30日まで
売上高	64,586	62,284
売上原価	48,518	47,402
売上総利益	16,067	14,881
販売費及び一般管理費	12,238	12,093
営業利益	3,829	2,788
営業外収益	589	335
営業外費用	175	210
経常利益	4,243	2,912
特別利益	26	91
特別損失	170	203
税金等調整前当期純利益	4,099	2,800
法人税、住民税及び事業税	1,308	827
法人税等調整額	△ 85	30
当期純利益	2,875	1,942
非支配株主に帰属する当期純利益	340	250
親会社株主に帰属する当期純利益	2,535	1,691

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2020年12月1日から 2021年11月30日まで	前期 2019年12月1日から 2020年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,869	3,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,174	△ 3,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,957	△ 1,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 5
現金及び現金同等物の増減額	3,731	△ 954
現金及び現金同等物の期首残高	16,493	17,447
現金及び現金同等物の期末残高	20,224	16,493

## 会社概要 / 株式情報 (2021年11月30日現在)

### 会社の概況

会社名 株式会社ノダ  
本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号  
設立 1938年1月8日  
資本金 21億4,100万円  
従業員数 1,001名(連結1,789名)

### 営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、信越(新潟市)、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

### ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

### 工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

### 連結子会社

石巻合板工業株式会社 : 宮城県石巻市  
アドン株式会社 : 静岡県静岡市  
株式会社ナフィックス : 東京都台東区  
アイピーエムサービス株式会社 : 宮城県石巻市  
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社) : インドネシア

### 持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社) : マレーシア

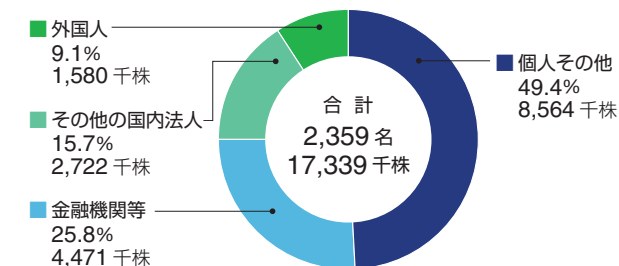
### 役員 (2022年2月25日現在)

取締役会長 野田章三 取締役 良知正啓  
代表取締役社長 野田 励 社外取締役 塩坂 健  
代表取締役専務 野田四郎 社外取締役 高井章光  
常務取締役 島村 明 常勤監査役(社外) 浦田 進  
常務取締役 高津原健太郎 常勤監査役 長谷川倫源  
常務取締役 中村嘉宏 社外監査役 三浦 悟  
常務取締役 辻村 力 監査役 上原敏彦  
取締役 宮田佳明

### 株式の状況

発行可能株式総数 68,303千株  
発行済株式の総数 17,339千株(自己株式1,054千株を含む)  
株主数 2,359名

### 所有者別株式分布状況



## 株 主 メ モ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで  
定時株主総会 2月  
基準日 定時株主総会 11月30日  
期末配当金 11月30日  
中間配当金 5月31日  
そのほか必要ある場合は、  
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
公告掲載新聞 日本経済新聞

### 《株式に関する手続きのお申し出先について》

#### ●証券会社等へ当社株式をお預けいただいている場合

当社株式をお預けいただいている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。

#### ●証券会社等へ当社株式をお預けいただいていない場合(特別口座)

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先/電話お問合せ先)

〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号

電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)

(※)トラストラウンジではお取り扱いできません。

なお、電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、上記の電話お問合せ先までお問合せ下さい。

## ホームページ、公式SNSのご案内

当社のホームページにてシミュレーションツールやWebカタログ、新製品・おすすめ製品情報がご覧いただけます。また、当社の公式Facebook・Instagramでも様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧下さい。

<http://www.noda-co.jp>



環境保全のため、FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

公式Facebook



@NODA\_corporation

公式Instagram



@noda\_corporation

Facebook : <https://www.facebook.com/NODAcorporation/>  
Instagram : [https://www.instagram.com/noda\\_corporation/](https://www.instagram.com/noda_corporation/)